

# エコ通勤ツールとしての交通ICパーク&ライドサービスの可能性と環境負荷軽減効果

土居厚司/㈱ライテック [発表者]  
 高橋 正/国土交通省関東運輸局交通環境部環境課  
 谷口 守/筑波大学大学院システム情報工学研究科

## ◆調査の目的

- 交通ICカードを活用した鉄道事業者との連携によるパーク&ライドサービスの普及拡大に向けた課題の整理
- 公共交通関係への利用転換・促進に向けた有効な施策としていくための方向性を検討するための基礎資料の収集

## ◆調査内容

### ○アンケート実施対象

「交通ICパーク&ライドサービス」を実施している駐車場の中からP&R利用者が比較的多い**6箇所の駐車場**（右図）の利用者を対象にアンケート調査を実施

### ○アンケート実施方法

配布方法	来場時に駐車券をとる際、調査員が調査票を手渡し配布
回収方法	後日郵送で回収
配布物件	配布用封筒に、お願い状・個人情報取扱注意書、調査票、返信用封筒を封入
配布日時	2010年1月21日(木) 午前中(6時~11時頃)
主な調査項目	・駐車場利用特性(利用目的, 利用頻度, 目的地等) ・駐車場からの利用交通手段 ・転換前の利用交通手段(移動方法) ・P&Rを実施する理由 等

### ○配布回収状況

駐車場	配布数	回収数	回収率	収容台数	P&R実績率
国分寺北口	98	40	41%	223	19
武蔵五日市	100	54	54%	146	48
高尾駅前	50	22	44%	82	26
幸手駅前	76	26	34%	89	50
高松駅前	100	22	22%	152	26
藤沢	150	72	48%	568	47
合計	574	236	41%	1,260	216

※平日1日あたりのP&Rの平均利用台数(パーク24調べ)



アンケート調査対象駐車場

出典)パーク24㈱HPより作成

## ◇交通ICパーク&ライドサービスについて

パーク24株式会社では、鉄道事業者と提携し、交通ICカードを活用した駐車料金の優遇サービス（以下、交通ICパーク&ライドサービスという）を実施し、パーク&ライドを推進している。「交通ICパーク&ライドサービス」とは交通ICカードに記録された鉄道の降車履歴をシステムで読み取り、駐車料金を自動で優待するサービスである（下図）。本サービスは、2007年7月に東武鉄道との提携でサービスが開始され、その後もサービスを拡大している。



出典)パーク24㈱HP (http://times-info.net/map/pandr/)

## ◆調査結果の概要

### P&R利用状況

- ◆ 回答者の**42%**がP&R利用、幸手駅前（92%）と武蔵五日市（85%）の割合が高い（図1）
- ◆ P&R利用者の**60%**が通勤目的で、平均利用頻度は**週3回**程度（図2、図3）

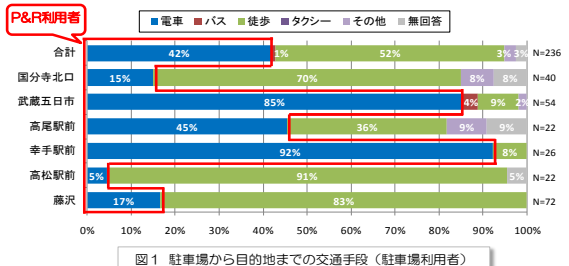


図1 駐車場から目的地までの交通手段 (駐車場利用者)

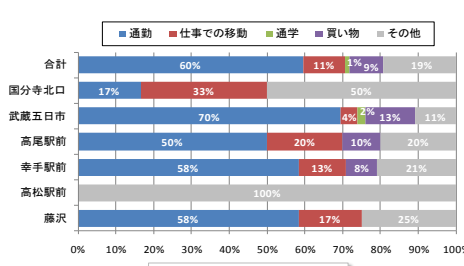


図2 利用目的 (P&R利用者)

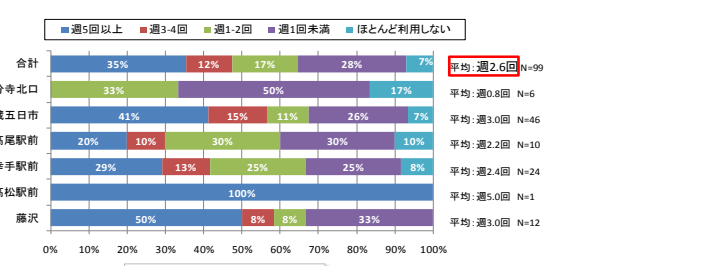


図3 利用頻度 (P&R利用者)

### P&Rに転換前の利用交通手段

- ◆ P&Rに転換する前に「目的地まで車で移動していた人」は約1割、武蔵五日市で人数が多い（図4）
- ◆ 「目的地まで車で移動」からP&Rに転換した人の目的地は、**郊外の中核都市**（図5）
- ⇒ CO<sub>2</sub>排出量の削減が期待 ⇒ **普及促進に向けたターゲット**
- ◆ バス路線が比較的多く整備されている駅では、3~4割がバスから転換（図4）
- ⇒ 公共交通の利用促進や環境負荷低減の面からは、**バスの利便性を考慮したP&R駐車場の設定が必要**

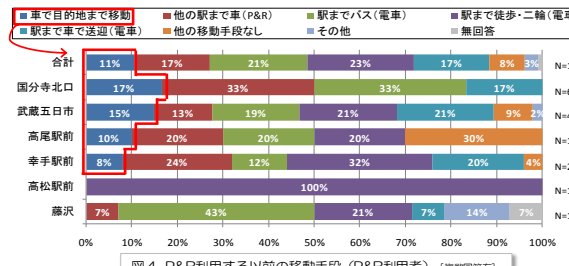


図4 P&R利用する以前の移動手段 (P&R利用者) [複数回答可]

表1 P&RによるCO<sub>2</sub>排出変化量の試算結果

利用駐車場	CO <sub>2</sub> 排出変化量 (kg-CO <sub>2</sub> /年)
国分寺北口	88
武蔵五日市	▲3,706
高尾駅前	404
幸手駅前	▲785
高松駅前	455
藤沢	2,168
合計	▲1,375

※P&R利用者について、P&Rによる移動(現在の移動方法)の場合と、P&R利用する以前の移動方法で移動した場合のCO<sub>2</sub>排出量を算出し、利用頻度を用いて年間拡大した上で差分を求めた。ただし、特異なデータ(幸手駅で1件)を除いている。

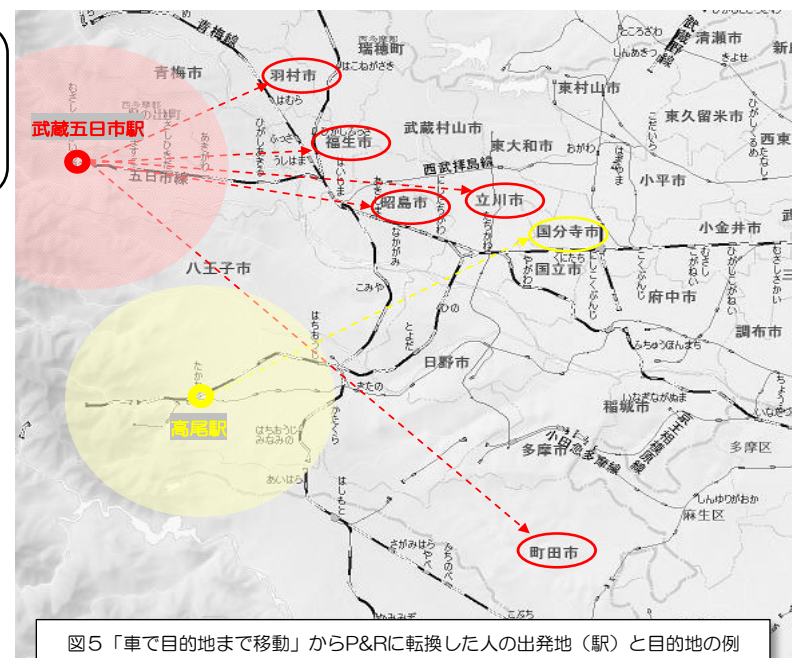


図5 「車で目的地まで移動」からP&Rに転換した人の出発地(駅)と目的地の例

## ◆交通ICカードを利用したP&Rの普及促進に向けて

- ◆ CO<sub>2</sub>排出削減効果を考慮すると、郊外から**郊外部の中核都市まで車で移動している人がターゲット**となる。
- ⇒ 目的地の中核都市まで鉄道を利用して40分程度で移動可能な駅に、P&R駐車場が設置されることが有効であると考えられる（アンケート結果より）。
- ◆ 普及促進に向けては、**郊外から中核都市に車で通勤している人**に対して、交通ICカードを活用したP&Rサービスの内容や、「**定時性の確保**」「**環境負荷低減効果**」などの**P&Rのメリット**についてPRすることが効果的であると考えられる。